

まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>



100号
2008年7月23日

ときわ台の景観を守る会
ときわ台まちづくり委員会
代表 鈴木博之 近藤洋子
事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

協力金振込先 郵便局00110-3-739728 ときわ台の景観を守る会

○ 行政訴訟始まる

東京都開発審査会の裁決が昨年12月末だったので、6ヶ月以内という行政訴訟の期限が来てしまった。建築審査会の裁決次第という側面があったのだが、仕方なく板橋区を対象に行政訴訟を6月25日付で起すこととなった。

31名の審査請求人（後に5人取り消し）のうち、26名が原告となる資格があるのだが、印紙代が高いため、12人程度に絞らせてもらった。建築審査会の場合（請求人51名）も同様で、少数に絞りたいので宜しくお願ひしたい。どちらも新規に参加はできないが、常盤台に無数の建築物を歓迎しない気持ちは誰も同じはずなので、誰もが原告の一人と思ってご支援いただきたい。

○ 建築審査会 ー情報公開の状況は？ー

建築審査会の口頭審問での日本建築センターの「メチャクチャ」発言について確認のため、口頭審査記録を情報公開請求した。しかし記録のどこにも「メチャクチャ」発言はない。請求人・弁護士・傍聴者全員が聞いた言葉であるから、消し去ることは不可能。私達の記憶と違う所があるので、テープを聞かせてほしいと申し入れたところ、個人情報保護に抵触するからお断りだそう。隠ぺい工作があったとしたら大問題。請求人本人が公開を求めているのに、隠すこと自体が疑わしい。引き続き弁護士を通じてこの問題は追求していかねばならない。

○ 渋谷区長 駆け込み建築に開発許可出さず

明和地所が渋谷区富ヶ谷で、高さ制限条例施行直前に駆け込み申請した100mを越す高層マンション計画に対し、渋谷区長は開発許可を出さないと明言した。

「まちづくりニュース」が
100号になりました！

二〇〇三年六月一九日に第一号が出てから、今回まで、号外を除いて一〇〇号目になりました。

タカラレーベンのマンションについての話し合いを呼びかけることから始まったこの「ニュース」は、全くの草の根住民運動の結実。今では「緑の紙のニュース」と呼ばれて定着しようです。

印刷・編集・配布、全て地域愛から出発して行動している会員たちの手で作られています。

皆様の厚意あふれる協力金により、紙代・印刷費がまかなわれ、広告費をあてにしたことがありません。従ってなんのしがらみもなく、自由に批判精神を発揮することができるとです。

一〇〇号を記念し、ボランティア精神で配達を分担して下さっている二十人余りの人たちに対し、一三日にささやかな感謝の会を開きました。

今後ともこの「ニュース」が有意義に活用されていくならば、私達の使命は殆ど達せられたものと満足です。

長谷工マンション

話し合いの日にち決まる

前野町に建設中の長谷工マンションの管理会社に対し、「しやれ街協議会」と「景観を守る会」とで申し込んだ話し合いが、来る八月四日に行われることとなった。このマンションに限らない問題だが、とりあえず誠実な対応を期待して、自転車問題やペットのマナーなどを取り上げ、協力を呼びかけたい。将来的には区や鉄道会社とも話し合いを始めるきっかけとなればよい。

お茶の水大の学生が、卒論で田園調布・成城・常盤台の比較研究をした。それによると、周囲のマンションなどの高層建築物が、常盤台の場合、前者より数倍も多いという。環境はそこだけ良ければよいというものではない。田園調布がゆるぎない高級住宅地といわれるのは、周りの環境も良いからなのだ。

BホームズのKさん逝く

常盤台の不動産業界ではよく知られたKさんが、五九歳の働き盛りで亡くなった。「景観を守る会」の運動にも理解を示してくれて、十年前の地区計画反対運動を常盤台には良い結果がなかった、と批判。土地の細分化で金儲けをするやり方に、はっきり反対を述べていた。商店街と住宅街の間の橋渡しとして、これからの常盤台を考えていく上での重要な役割を期待する向きもあったことから、突然の逝去は多くの人に惜しまれた。

図書館の手すりは検討したい

— 図書館長の約束 —

中央図書館長に一丁目のYさんの「改築が何年も先なら、図書館にせめて手すりを」という要望を伝えたところ、「検討します」という前向きな返事であった。図書館改築については、ワークシヨップなどの形で、計画の初めから住民たちと意見交換をしてほしいと思うので、再度訪問してこようと思う。

定例会

八月九日(土) 七時

一・二丁目町会事務所

常盤台公園の花づくり

アカンサスという植物を、日比谷公園などで見た方がいると思います。大きな葉の草本科の植物で、花を入れると2m近くになります。

常盤台公園にもほしかったのですが、Mさんによると、繁殖力が強く、他の植物を駆逐してしまう恐れがあるとのこと。一旦は諦めていたから、Yさんが持っていて、鉢では花も咲かないので寄付して下さいました。うまく土になじみ、他の植物と共存できればよいと思います。

アカンサスほどではありませんが、背の高い草を、と探したのがクラリーセージ。小淵沢で見かけて苗を買ってきたものが、早くも薄紫の花をつけ、1・5mほどに育ちました。群落を作ると見ごたえがあると思います。

ヒトリムスメと言う変わった名前前の花は、別名フランネル草、また別名酔仙翁。白花は珍しいので、種が採れたら下さいという人あり。

Kさんの家が改築になった時、お庭からいただいた真っ白な鉄砲ユリも素晴らしい株になり、長い間楽しませてもらいました。

角の花壇は白や紫のアガパンサスや、カサブランカの白い花が、木立の暗がりを背景に、浮き出るような感じで、涼風が吹き通る気がします。(と書いたあと、開花間近いカサブランカが3本とも折り取られたのを知られました。悲しいことです。このニュースを読んでいる人に愚痴っても仕方がないのですが・・・)

今年は早くも真夏日の連続、どなたも体の調子を見ながら、夏を乗り切ってください。